国立病院機構　小倉医療センターだより　2022年3月号

― 診療科よりお知らせ ―

小児科　小児専門外来へのご紹介は、小児科外来で予約(14:30まで)をお願いいたします

*循環器外来　・・・　月曜日・水曜日・金曜日　　担当医:山口、中島

*アレルギー外来　・・・　火曜日　　担当医:森

*小児神経外来　・・・　木曜日　　担当医:緒方

眼　　科　火曜日・木曜日は手術日のため、10:00で受付は終了いたします

※緊急手術や外来患者多数の場合、受付の締め切り時間を早める場合がございます

精 神 科　もの忘れ外来 <<完全予約制>> ※ご予約は、精神科外来(14:30まで)にご連絡下さい

血液内科　診療体制の都合上、新規の紹介患者様の受け入れに、ご迷惑をおかけする場合があります

皮 膚 科　3/31休診となります。診療体制の都合上、水曜日は、再来患者様のみの診察となります

― 外来医師不在のお知らせ ―
（ 2月21日 現在 ）

整形外科	松尾　拓・・・3/4（金）
	今村　清志郎・3/16（水）
小児科	森　さよ・・・3/24（木）
産婦人科	大藏　尚文・・3/10（木）
	清水　隆宏・・3/7（月）・3/11（金）
眼科	浅原　健一郎・3/28（月）・31（木）
	福山　文里・・3/25（金）
消化器内科	山口　裕也・・3/25（金）・28（月）・30（水）
精神科	磯村　周一・・3/7（月）～9（水）・22（火）
	今村　眞帆・・3/14（月）～16（水）
	廣瀬　武尊・・3/11（金）
皮膚科	井上　慶一・・3/1（火）
3/31休診	木村　七絵・・3/3（木）・17（木）・18（金）

―医療従事者研修について―

開催日	内　　容　・　講　　師
3月 24日(木) 時間:19:00～	小倉小児科医会臨床懇話会(Web講習会)

― 健康教室について―

「糖尿病健康教室」「産婦人科教室」の開催予定はございません

<診療案内>

- 受付時間
  午前8:30～午前11:00
- 救急受付
  救急患者につきましては
  お電話でお問い合わせください。
- 診療時間
  午前8:30～午後5:15
- 休診日
  土・日・祝日・年末年始

<地域医療連携室をご利用ください>

- 電話・FAXによる紹介患者様の受診予約・事前受付
- 羊水検査・NIPT・MRI・ CT等検査予約
- 転院に関するご相談・紹介・お問い合わせ
- 診療に関するお問い合わせ
- セカンドオピニオン外来
- 家族性腫瘍カウンセリング予約等
- がん相談に関すること

国立病院機構　小倉医療センター　〒802-8533　北九州市小倉南区春ケ丘10-1

【診療科】　内科、消内、循内、精神科、小児科、外科、整形外科、皮膚科
泌尿器、産科、婦人科、眼科、耳鼻科、放射線科、小児外科

◆ご紹介・研修に関してのお問い合わせは、地域医療連携室をご利用下さい◆

（病院代表）　FAX　093-522-5072　TEL　093-921-8881

（地域医療連携室　)FAX　093-921-8892　TEL　093-921-8887(紹介患者専用TEL)

独立行政法人国立病院機構

小倉医療センター外来診療担当表

令和４年３月１日現在

診療科	月	火	水	木	金	備考
内科一般（新患） 【内線 208】	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	新患担当は、内科系医師の交代制です。
肝臓内科 【内線 208】	佐藤丈顕	佐藤丈顕	佐藤丈顕 山下晋作	山下晋作 倉重智之	山下晋作 倉重智之	
血液内科 【内線 208】	武藤敏孝	高月浩	武藤敏孝	高月浩		※血液内科について下記欄外参照ください。
糖尿病・内分泌代謝内科 【内線 264】	的場ゆか 南陽平 塚本真大	◇的場ゆか 林加野 阿部隼希	的場ゆか 南陽平 塚本真大	的場ゆか 澤田英明 阿部隼希	澤田英明 南陽平 林加野	◇印　予約のみ
呼吸器内科 【内線 208】	休診					
循環器内科 【内線 202】		鈴木哲	鈴木哲		◆	新患：紹介患者のみ、要予約 ◆他院より派遣医師(要予約)
消化器内科 【内線 205】	山口裕也	村尾寛之 深浦啓太	山口裕也 深浦啓太	村尾寛之 深浦啓太	山口裕也 村尾寛之	膵疾患は山口医師が担当。
消化器・一般外科 【内線 205】	鈴木宏住	山﨑徹 太田耕二	近沢信人	堤宏介	田邊麗子	
乳腺外科 【内線 205】	山﨑徹	山﨑徹 太田耕二 ◇轟木秀一	◇山﨑徹	轟木秀一 堤宏介	轟木秀一	◇印　予約のみ
整形外科	清水敦 深川真吾 松尾拓	[手術日]	清水敦 深川真吾 今村清志郎	[手術日]	清水敦 深川真吾 松尾拓 今村清志郎	※手術日の急患・紹介に関しては事前にご連絡をお願いします。
小児科 【内線 209】	安永由紀恵 上野雄司 中嶋敏紀 南里（予約） 口酒見好弘	安永由紀恵 中嶋敏紀 宮内（奇数週） 佐藤（偶数週） △森さよ ☆渡辺恭子 ☆緒方怜奈	上野雄司 河原典子 ◇九大より派遣 ◎山口賢一郎 ☆安永由紀恵 口酒見好弘	河原典子 森さよ ☆緒方（初診） ☆上野雄司	河原典子 南里亜由美 ◎山口賢一郎 ◎中島康貴 ☆渡辺恭子 口酒見好弘 ☆緒方怜奈 ☆安永由紀恵	◎循環器外来（予約制） △ｱﾚﾙｷﾞｰ外来（予約制） ☆神経外来（予約制） ◇内分泌外来（予約制） 口新生児外来（予約制：午後） 特殊外来の予約は小児科 外来へ14：30まで予約 詳しくは病院ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ
小児外科 【内線 209】	[手術日] （急患のみ可）	生野猛 ※生野久美子 橋本佳子	[手術日] （急患のみ可）	◎生野猛 生野久美子 ※橋本佳子	※生野猛 生野久美子 橋本佳子	◎小児泌尿器外来 ※印　新患担当 急患は随時対応
産科・婦人科 【内線 204】	小野結美佳 萩本真理奈 倉留洋平 西村和朗(最終週) ＊大蔵尚文 ＊川上浩介 ＊清水隆宏 ＊北川麻里江	牟田満 藤川梨恵 久保沙代 ※徳田諭道 ※浦郷康平 [手術日]	大藏尚文 小野結美佳 藤川梨恵 久保沙代 ＊川越秀洋 ＊川上浩介 ＊河村京子	大藏尚文 熊谷晴介 近藤恵美 ＊牟田満 ＊川越秀洋 ＊北川麻里江 ＊浦郷康平	川上浩介 岡洋甫 ＊河村京子 ＊徳田諭道 ＊清水隆宏 [手術日]	※印　新患担当 新患は紹介患者様のみ
泌尿器科 【内線 213】	[休診]	◆	[休診]	[休診]	◆	◆他院より派遣医師
皮膚科 【内線 214】	木村七絵 井上慶一	木村七絵 井上慶一	井上慶一	木村七絵 井上慶一	木村七絵 井上慶一	水は新患・紹介なし
眼科 【内線 212】	能美典正 浅原健一郎 福山文里	浅原健一郎 福山文里 高木（第1週） [手術日]	宮城美智子 浅原健一郎 福山文里	能美典正 浅原（奇数週） 福山（偶数週） [手術日]	能美典正 浅原健一郎 福山文里	火・木は 10：00で受付終了
精神科	廣瀬武尊 今村眞帆 野内友三郎 ※磯村周一	今村眞帆 西岡慧 ※権藤知子	磯村周一 今村眞帆 権藤知子 ※西岡慧	磯村周一 廣瀬武尊 権藤知子 ※野内・山本	磯村周一 権藤知子 山本侑季 ※廣瀬武尊	※印　新患担当 新患は要電話予約 (9:00～14:30電話受付)
放射線科 【内線 231】	野見山弘行	野見山弘行 浅井（午後）	野見山弘行	野見山弘行	野見山弘行 高木（午後）	
耳鼻咽喉科 【内線 8320】	[休診]	◆	[休診]	[休診]	◆	◆九大より派遣医師
消化管内視鏡 【内線 379】	村尾寛之 深浦啓太	山口裕也 山下・倉重	村尾寛之	山口裕也	深浦啓太	

注）：受付時間：午前８：３０～１１：００（急患については、この限りではありません）
注）：不在の場合は担当医が変更になることがあります。
注）：詳しくは、病院ホームページをご覧下さい。
注）：血液内科診療につきまして、診療体制の都合上、新規の紹介患者様の受け入れに、ご迷惑をおかけする場合があります。

◆国立病院機構小倉医療センター◆

〒802-8533　北九州市小倉南区春ヶ丘10-1
ＴＥＬ093-921-8881/ＦＡＸ093-921-8892（地域医療連携室）

診療科紹介・院内チーム紹介

放射線科

当科は現在、放射線科診断専門医2名、非常勤放射線科治療専門医2名、診療放射線技師11名にて診療を行っております。一般診療に加え、病診連携として、超音波（腹部）・CT・MRI・核医学検査・骨密度検査を行っています。
【電話：093-921-8881（内線231）　画像診断予約連絡表のFAX送付先：093-921-8892】
画像および報告書はCD/DVDーROMにて当日中に発送いたしております。当日の緊急検査や検査当日の画像・報告書が御要望の際にも可能な限り対応していきたいと思っておりますので御相談ください。また、インターネットを利用したCT・MRI検査の予約が可能なCARNA connectを採用しております。導入を検討の際には御連絡下さい。
【地域医療連携室 電話：093-921-8887（直通）】
放射線治療機器も導入しており、九州大学放射線科のバックアップをうけ、週2回の非常勤医師による放射線治療専門外来も行っております。
地域医療支援病院として少しでも皆様のお役に立てるよう、日々の診療に努めて参りますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ハイリスク周産期チーム

2016年に妊産婦の自殺による死亡率が身体的疾患による死亡率の2倍以上であることが報告され社会に衝撃を与えています。安心してこどもを産み育てられる環境の実現のために、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の提供が必要であり、その中心として各市町村に『子育て世代包括支援センター』が設置されました。しかし地域の全ての妊産婦・乳幼児を継続的に把握することは包括支援センターのみでは困難であり、子育てをとりまく全ての団体への連携を求められています。特に当院は精神科を有する周産期母子医療センターであり地域からの期待は大きくなっています。
2018年、ソーシャルハイリスク妊産婦を対象に地域医療連携室が中心となって産婦人科・小児科・精神科・助産師・看護師・医療ソーシャルワーカーのハイリスク周産期チームを結成しました。各自治体の子育て世代包括支援センターと定期的な会議を行い、妊産婦の支援に必要な実情の把握、福祉関係機関との連絡調整および支援プランを策定しています。
今後もハイリスク周産期チームで一丸となり、安心してこどもを産み育てられる環境を実現させたいと思います。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。